

事業報告資料

「家族(子と親)が幸せになる人権を支援する社会教育事業」

一般社団法人ウインウイン



1. 事業が目指すところ

子どもと子育て世代への支援活動を通して、自由な子ども(子ども本来の姿)を創出するキッカケづくりに取り組みます。公教育という既存常識から発想の転換を図り、感情の自由・知性の自由・社会的な自由を発揮するために「自己決定の原則・個性化の原則・体験学習の原則」を踏まえ、精神的幸福度を高めます。地域内のデリケートな問題を抱える当事者(不登校・虐待・いじめ・自殺等の被害者)や家族に対し、子どもの心の深層に潜む自己否定感情や自己憎悪に「自分のままでいいんだよ」と肯定的なメッセージを与え続け、子どもの“味方づくり”を支援します。さらに、子どもの孤立・孤独を予防する“つなぎ役”を養成する研修会を実施し、地域の共生社会づくり実現を目指します。

2. 活動内容

年月日	活動内容	年月日	活動内容
R6.5.25	「ほんまもの家族(愛をばらまけ)」講演会 講師 西田好子(メダテ教会牧師) 魂をぶつけ合う愛が“生き直せる”勇気を引き出す	R6.12.21	「子ども基本法」学習会 講師:桜井智恵子(関西学院大学教授) “子どもの表明権”をフォローする真のケアが必要
R6.9.21	自主上映会「夢みる少学校完結編」 “自己肯定感とやり抜く力”を引き出すことで、子どもが勇気をもって実行できる環境づくりが大事	R7.2.1	「不登校ひきこもりの親が幸せな理由」 講師:後藤誠子・匡人親子 何でも“笑いの種”にすれば、幸せが押し寄せる
R6.11.23	自主上映会「夢みる校長先生」 公教育が自由な思考や革新的な発想を促進すべく子どもの自発性を引き出す“新たな試み”が必要	R7.2.9	「コミュニティスクール」講演会 講師:押田貴久(兵庫教育大学准教授) 人がつながり、ともに創る“みんなの学校”

3. 成果と課題点

- (1) 成果: 家族支援策は講演会・上映会での「教育(公教育+社会教育)の重要性&住民参加の共生社会づくり」を推進
- 1) 家族&教育をテーマにした講演会活動:
現況の少子化・単身化・孤立化が蔓延する中で、血縁関係なしの“家族機能の社会化”の必要性を納得していただいた。子ども基本法、特に子どもの表明権を後押しするには“保護者や地域の支援”が最重要課題であることが強調できました。後藤親子の対話セミナーで、当事者と親だけでなく“地域ケア”が当人たちに温かい光をもたらすエンパワーの重要性を認識。
- 2) 子ども本来の自由と創造を引き出す自主上映会活動:
「夢みる少学校完結編」では、子どもの問題は当事者と教師だけでなく、支援する保護者・地域等“大人たちの課題”にも言及。「夢みる校長先生」を鑑賞して、不登校という現象が従来からの伝統的な教育システム(画一的・前例主義)に対する子どもたちの無言の異議申し立てであり、同視線に立って保護者・地域が内容共有することで“人間らしい教育”のあり方の再構築が必要。
- (2) 課題点: 学校を地域に開かれた風通しの良い雰囲気をもった「希望」をもてる処に変革することで、楽しい空間に再生する。少子化、単身化が急速に押し寄せ、半世紀前とは価値観・世界観がコペルニクス転回しているのに、公教育は伝統偏見に終始。
- 1) 公教育を壁のある孤立施設ではなく、福祉(地域協働システム)観点からの支援と共に、“地域包括的”視点が必要。
2) 教育は知識偏重だけでなく、“自然学習(生物多様性等)や社会学習(人間の営む社会活動)”から学ぶことも重視していく。
3) 教育と福祉は分野別・属性別に異化されるも、本来人間を幸福にするという同義語という“包括的・横断的”な捉え方が大切。

4. 今後の展望、成果の活用

- 1) 今後の展望:
今年度の自主上映会活動を通して、不登校の保護者グループと縁ができ情報を共有することでその後の協働企画運営としての講演会が開催できました。それと併行して地域で社会活動をしている人々がつながって子どもも大人も安心して暮らせる地域を作っていこうという想いをもって東灘区をコアに「まるごと(地域ケアシステム)」を組織しました。福祉と教育を源に「地域と学校、福祉教育と地域福祉」について、“包括的支援&重層的支援体制整備”を推進します。
- 2) 成果の活用:
子どもまなか社会というスローガンの元、子ども基本法が制定されその実行役として子ども家庭庁が発足されました。形は整備されても、子どもを取り巻く環境は従来の固定的・伝統的な風土に変化の兆しが表れていないのが現実です。不登校・いじめ・自殺・虐待等が増加の一途であり、極端な少子化なのに反比例している現状に対して子どもたちから無言のNOを宣言されています。特に公教育の変革が“待ったなし”の中で今年度事業は成果があり、継続拡大します。